

ご挨拶



土浦市長

中川 清

新年明けましておめでとうございます。
平成23年の初春を市民の皆様と共に迎えることのできる喜びを、心からかみしめております。

昨年は、市制施行70周年の年であり、記念式典をはじめとして様々な催しが企画、開催されました。いずれも天候に恵まれ、市民の皆様と共に祝い、喜びを分かちあうことができましたことは、誠に嬉しい限りであります。

一方、国内外に目を転ずれば、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件とそれにかかわるビデオ画像流出の問題、北朝鮮による韓国延坪島への砲撃、ギリシャの財政破綻による円高、経済悪化、また、気候変動に端を発すると思われる酷暑や自然災害が各地で



発生し大きな被害を出すなど、我々の肝を冷やすような事件が相次ぎました。そんな時、私は今更ながら我がまち土浦市は、温暖な気候に恵まれ、災害も少なく、「日本一住みやすいまち」になる魅力を十分に有しているまちだと改めて感じました。

さて、平成23年は卯年。うさぎの様に、優しさに加え、大いなる飛躍を遂げる年にしたいと思います。市制施行80年、更には100年に向けて発展を期さねばなりません。地方分権の波は益々加速されておりますが、これからの時代は、「地方主権」の心構えが無くてはなりません。そのためには市民の皆様一人ひとりが、更なる市政への関心と燃えるような愛郷心を持っていただくことが不可欠であります。

今年是我がまちに未来への槌音が響きわたる、そんな年に皆様と一緒にしたいと思います。

私は、市民の皆様と土浦への思いを一つにし、協働を成し得れば、誰もが住みたくなる「土浦」の実現は、身近なものになってくると確信いたします。

より良き平成23年になることをご期待し、年頭のご挨拶いたします。